様式３

第２８回　全国街路事業
コンクール応募資料

平成２７年１１月

応募者名：大分県

事業の名称：大分駅付近連続立体交差事業

実施都市名：大分県大分市

事　業　目　的

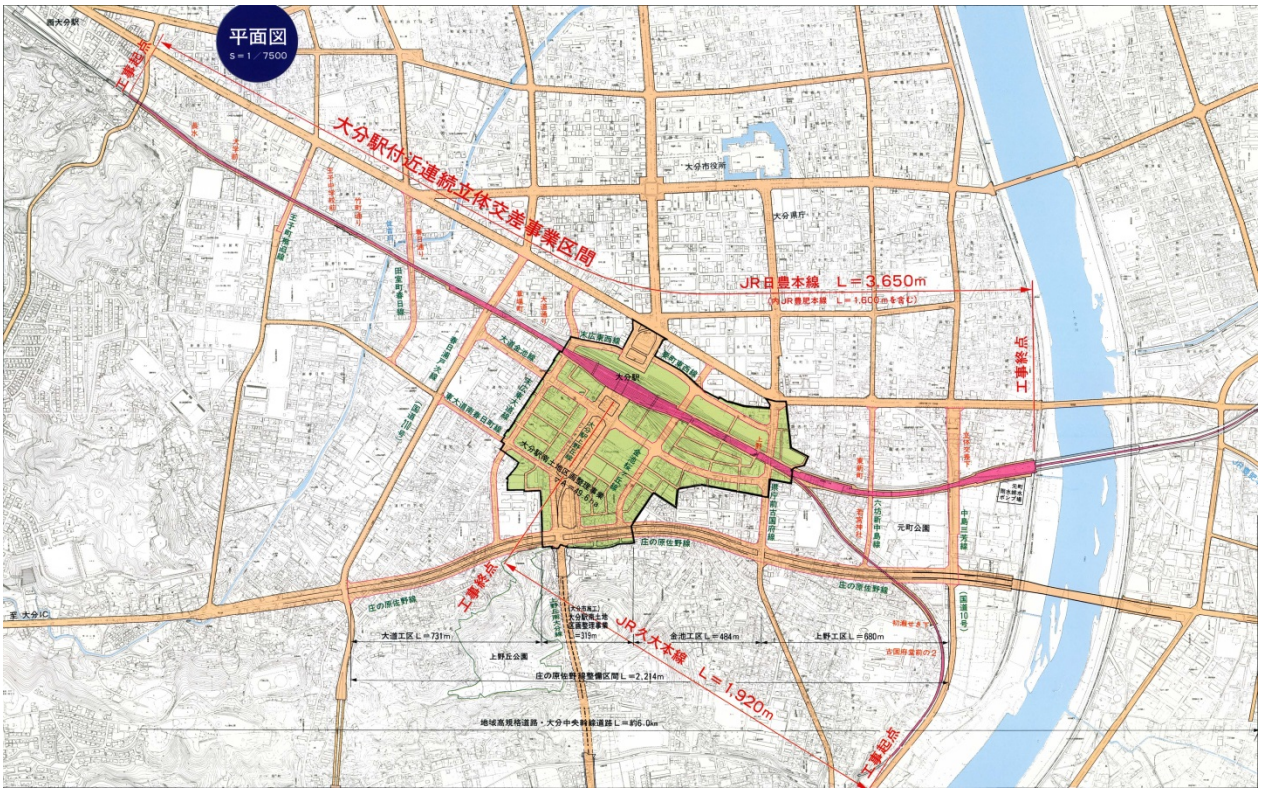
九州旅客鉄道日豊本線等の大分駅付近の約5．6kmにおいて鉄道を高架化することにより、13箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る。

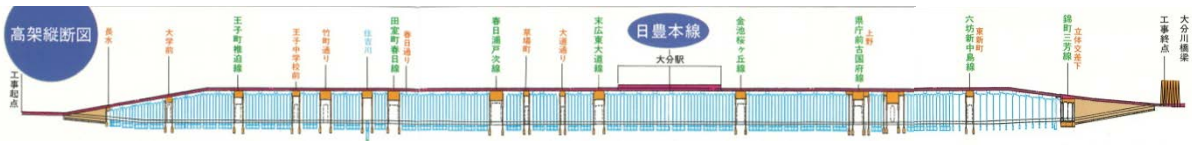
事　業　概　要

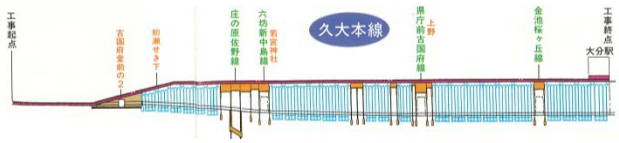
事 業 名 称：大分駅付近連続立体交差事業
路 線 名　：JR日豊本線（豊肥本線含む）・JR九大本線
事 業 箇 所：大分市生石～大分市元町
延 長　　：L=5．57km
幅　　員　：ホーム面数4面・線数8線
事　業　費：600億円
事業実施期間：平成7年～平成26年

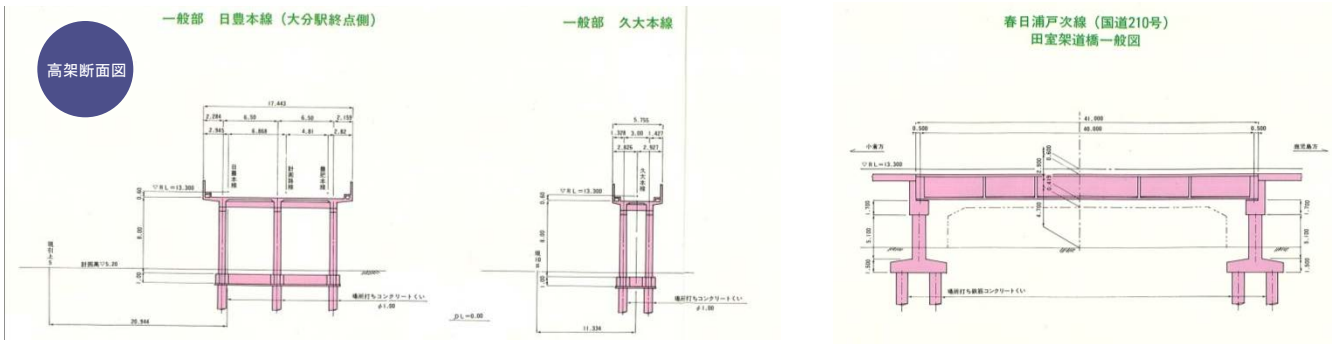
大分市は、ＪＲ大分駅を中心として、その周辺に都市の機能が集積し、発展してきた。しかし、中心市街地である大分駅周辺地区の現状は、鉄道により南北に分断されており、市街地の一体的発展を妨げ、踏切の遮断による交通渋滞の発生など、様々な弊害が生じていた。そのため、連続立体交差事業とあわせ、関連する都市計画道路の整備や土地区画整理事業等を大分駅周辺総合整備事業として一体的に行うことにより、「大分の顔」にふさわしい質の高い魅力ある都心を形成する。

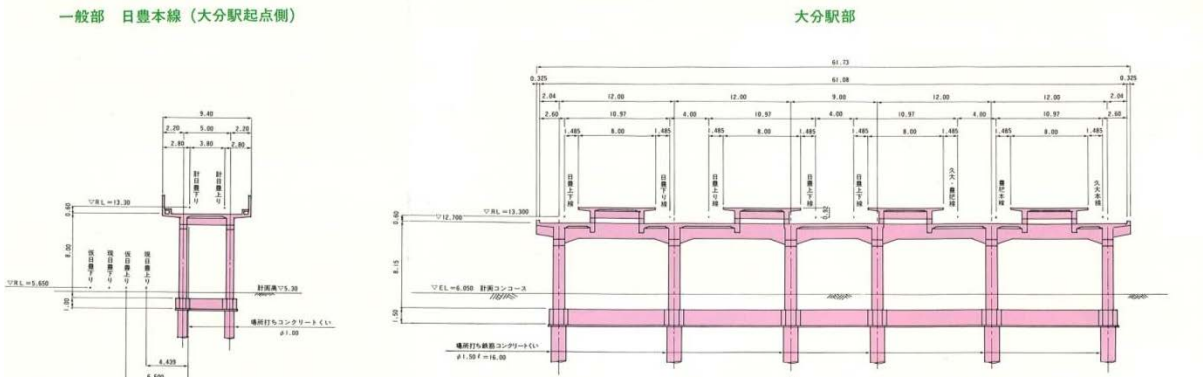
全体図（平面図・側面図・横断図）







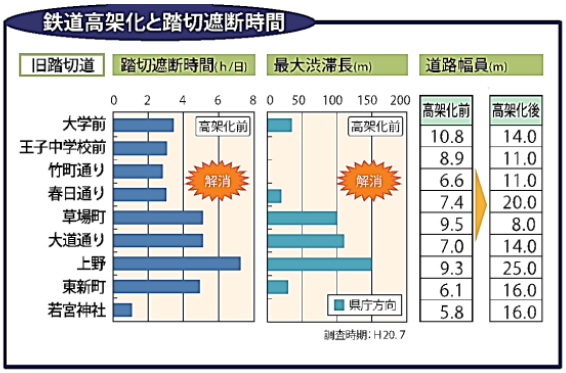


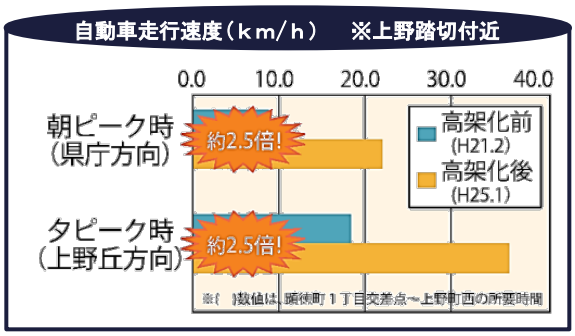


大分駅付近連続立体交差事業整備効果アピール資料

○事業概要
事　業　名：大分駅付近連続立体交差事業
路　線　名：JR日豊本線（久大線含）JR九大本線
事業箇所：大分市生石～大分市元町
事業延長：L=5．５７ｋｍ（別線方式）
幅　　員：ホーム面数４面・線数８線
総事業費：６００億
事業期間：Ｈ７年度～平成２６年度

１３箇所の踏切撤去　交通渋滞の解消・安全な通行空間を確保



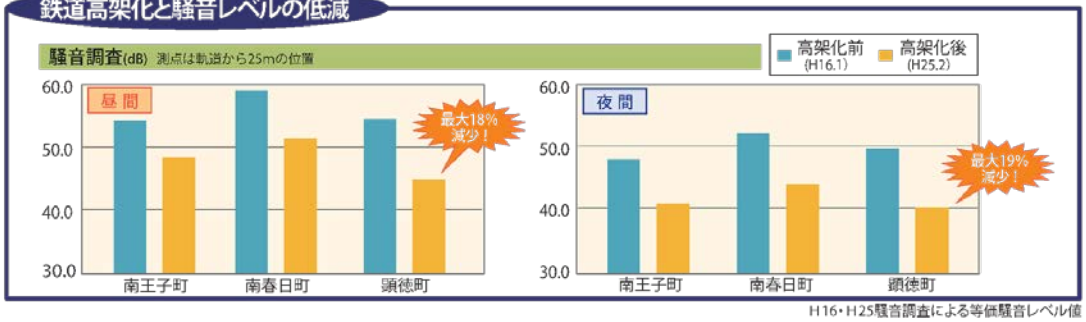


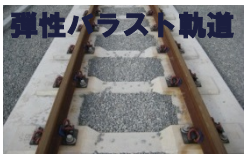
自由通路　駅を挟んだ南北が身近に！！駅を中心に賑わいが生まれる

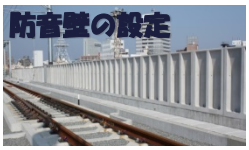
歩行者の南北アクセス

移動距離：820m→330m
490m短縮
移動時間：約10分→約4分
6分間の短縮

騒音対策　地上より静かに！！弾性バラスト軌道・ロングレール・防音壁の設置







事　業　前　写　真

航空写真

大分駅

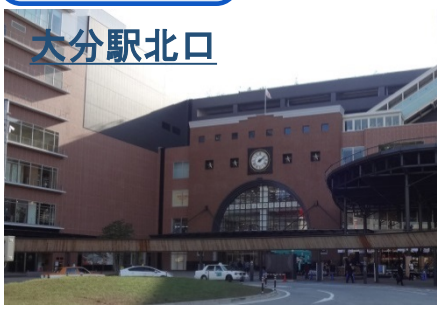
大分駅周辺状況

事　業　後　写　真

航空写真

大　分　駅

大分駅北口

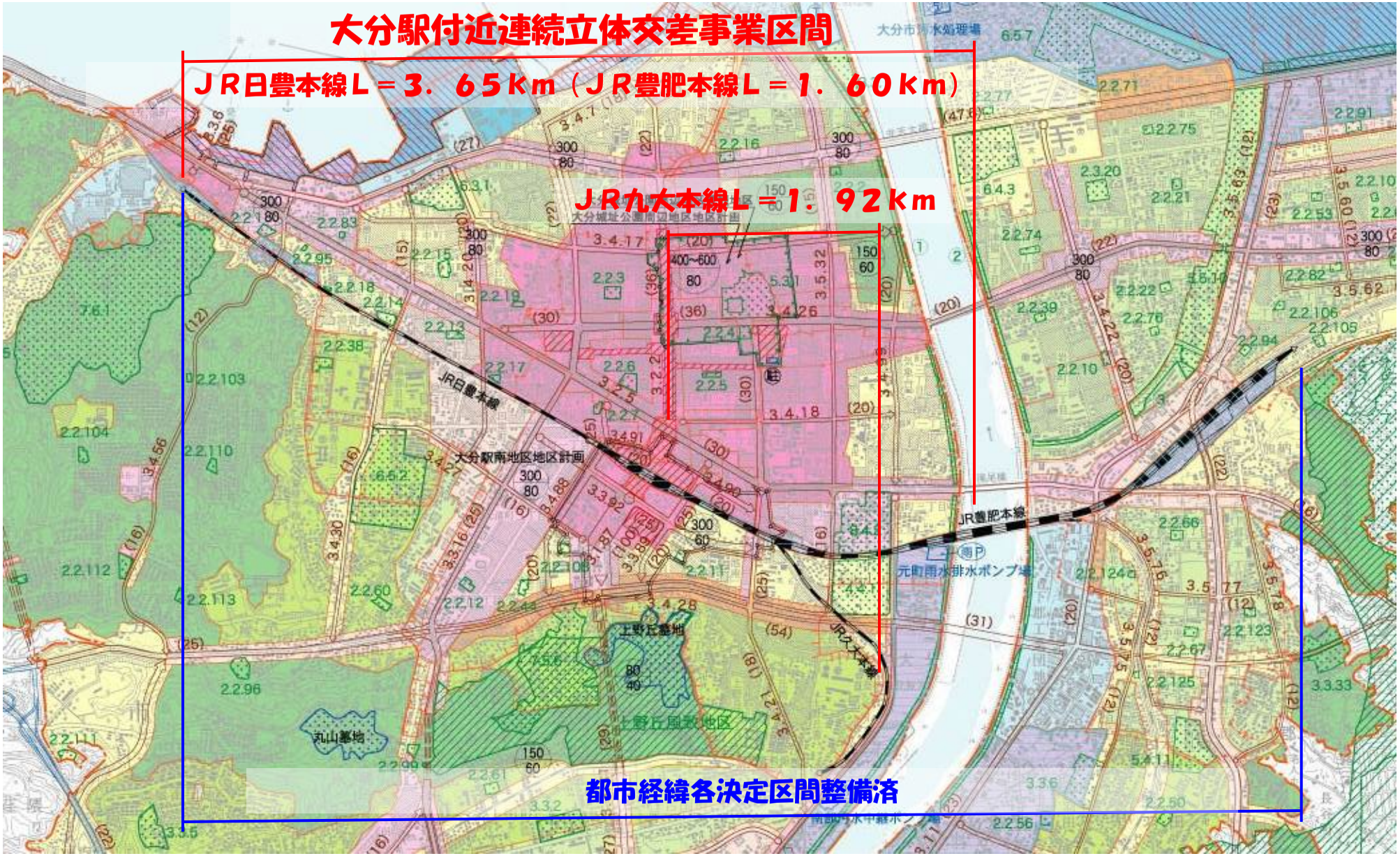


駅ホーム

大分駅南口

大分駅周辺状況

路　線　全　体　の　進　捗　状　況


大分駅付近連続立体交差事業区間
ＪＲ日豊本線Ｌ＝３．６５ｋｍ（ＪＲ豊肥本線Ｌ＝１．６０ｋｍ）
ＪＲ九大本線Ｌ＝１．９２ｋｍ
都市経緯各決定区間整備済
JR日豊本線
JR豊肥本線
JR九大本線
大分駅南地区地区計画
上野丘墓地
丸山墓地
上野丘国民宿舎地区
元町雨水排水ポンプ場
大分市汚水処理場